

「信濃川水系河川整備計画（変更案）」の公表について

北陸地方整備局では、大河津分水路の拡幅形状等の案をとりまとめたことを受け、現在、信濃川水系河川整備計画（平成 26 年 1 月策定）のうち大河津分水路改修に関する附図の変更作業を進めています。

先月より、学識経験者及び関係住民の皆様へ意見聴取を行い、この度、「信濃川水系河川整備計画（変更案）」を作成しましたのでお知らせします。（「変更案」は「変更原案」からの変更はありません）

今後は、河川法第 16 条の 2 第 5 項に基づく新潟県知事への意見聴取を行うとともに、関係行政機関との協議を行います。この手続きをもって、河川整備計画を変更することになります。

● 信濃川水系河川整備計画（変更案）について

信濃川水系河川整備計画（変更案）は、北陸地方整備局信濃川河川事務所ホームページの「信濃川水系河川整備計画」に掲載しています。

【ホームページアドレス】<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/shinano-plan/>

● 信濃川水系河川整備計画（変更原案）に対する学識経験者及び関係住民から頂いたご意見は別紙 1 のとおりです。また、意見聴取を行った学識経験者は別紙 2 のとおりです。

同時発表

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
新市政記者クラブ
長岡市記者会
長岡地域記者会
三条市記者室
十日町市記者クラブ

問い合わせ先



国土交通省

国土交通省 北陸地方整備局
河川部 河川計画課長 石井 陽
(代表) TEL:025-280-8880

信濃川河川事務所
調査課長 秩父 宏太郎
(代表) TEL:0258-32-3020

■信濃川水系河川整備計画（変更原案）に対する学識経験者から頂いたご意見について

今回の信濃川水系河川整備計画の変更は、既に信濃川水系河川整備計画に記載されている大河津分水路の整備内容に関して詳細な位置等が取りまとまったことを受け、附図の変更を行うものであり、信濃川水系河川整備計画策定時に大河津分水路が含まれる信濃川中流部についてご意見をお聞きしていた「信濃川水系学識者会議中流部会」の学識経験者に意見聴取を行いました。

頂いた主なご意見の概要は、下記のとおりです。

頂いたご意見	回答
・計画変更の内容について了解。	—
・工事の際の環境への配慮をどのように考えているか。	信濃川水系河川整備計画の『第5章第1節第3項1.（2）工事による環境影響の軽減等』に記載の通り、工事による環境への影響を軽減するよう努めます。
・計画策定時から大河津分水は話題になっており、やっとなで良かった。選択と集中の観点等も考えながら、極力早く事業を進めて欲しい。	信濃川水系河川整備計画の『第4章第1節第1項1. 目標設定の背景』のとおり、水系全体として段階的かつ着実に治水安全度の向上を図ってまいります。

■信濃川水系河川整備計画（変更原案）に対する関係住民から頂いたご意見について

信濃川水系河川整備計画（変更原案）について、住民説明会を実施するとともに、関係住民から広く意見聴取を行うため、下記のとおり閲覧及びインターネットによる意見募集を行いました。

- ・募集期間：平成26年10月20日（月）～平成26年11月18日（火）
- ・周知方法：記者発表、ホームページにて、一般からの意見募集を行うことを周知
- ・意見応募方法：閲覧箇所における意見箱、郵送、インターネット、FAX

【参考】記者発表「信濃川水系河川整備計画の変更に向けて関係住民の皆様のご意見を募集します」（平成26年10月20日）

http://www.hrr.mlit.go.jp/shinago/shinano-plan/pdf/20141020_press.pdf

頂いたご意見は、下記のとおりです。

頂いたご意見	回答
・変更原案の附図34を見ますと、河口山地部の掘削後の法面の頂上が掘削影響範囲と思われます。左岸側の掘削影響範囲より●●m外の住民です。現在は河まで約200m有り地すべりの心配はしていませんが、完成後は法面の頂上付近になると思われます。平成8年に左岸にもけっこう大きな地すべりが発生しています。家の地盤は砂丘砂の上に埋土20mだそうですが、近年の地球温暖化による想定外の大雨にも安全なのでしょうか。また、川風をまともに受けますし工事の騒音も上がってきます。年寄りをかかえていますし大丈夫か不安です。左岸掘削工事には反対しませんが、住民に現在の住環境より不利益が多い場合には移転を勧めるなど、現在の掘削影響範囲を50m～60m広げてもらいたい。法面の頂上付近での生活は嫌です。	関係住民の皆様のご協力により、左岸側の地質構造については概ね把握できたと考えております。今後の工事の実施にあたっては、頂いたご意見も含め、地元の皆様のご意見をよく伺いながら調整してまいります。
・長岡市寺泊の大河津分水路河口掘削地域の、河川反対の県道側は、流れ盤ではないのでしょうか？雨が降るといつも、水が滝のように流れ落ちてきます。法面内部に空洞が出来、工事したお宅も複数あります。●●番地住宅内部でも、傾きが出てきているのが現状です。山の半分を削ったら、豪雨などで崩れてしまうんじゃないか、と心配です。藪田●●の近辺のボーリングを希望します。	

信濃川水系河川整備計画変更 意見聴取を行った学識経験者一覧表

氏 名	所 属
うえの ゆうじ 上野 裕治	長岡造形大学 教授
おがわ よしき 小川 芳樹	東洋大学経済学部 教授
かわい かよこ 河合 佳代子	(有)UFMネイチャースクール 取締役社長
かわべ ひろし 川 邊 洋	新潟大学農学部 生産環境科学科 教授
とよぐち きょう 豊 口 協	公益財団法人 山の暮らし再生機構 顧問
なかむら ゆきひろ 中村 幸弘	上越市立水族博物館 館長
にしやま くにお 西山 邦夫	元 長岡市立科学博物館 館長
ひらい くにひこ 平井 邦彦	長岡造形大学名誉教授
ほそやまだ とくぞう 細山田 得三	長岡技術科学大学 環境・建設系 教授
まるやま ゆか 丸山 結香	(有)MAX・ZEN performance consultants 代表取締役
りく びん こう 陸 旻 皎	長岡技術科学大学 環境・建設系 教授
わたなべ ひさし 渡 辺 央	元長岡市立科学博物館 館長 新潟県野鳥愛護会 会長